

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2018
2月号
No.136

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索



〔定価〕
1部 10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: hinamaturi (3/1~3/31)

18春闘、こう闘う!

春闘共闘事務局長に聞く



要請書の提出と懇談 福岡県労働政策課



要請書の提出と懇談 福岡県町村会・町村議長会

●18春闘の課題を教えてください

第一に、消費不況と人員不足のもとで、すべての働く者の賃上げが求められています。すべての職場で要求書の提出を全組合員の力を集中して職場から取り組み、賃金引上げの状況を切り開く事が重要です。富裕層と貧困層の格差、正規と非正規の格差、男女間の格差、都市と地方の格差などを是正し、すべての働く者が8時間働けば、人間らしい暮らしが実現できるようにすることです。

●18春闘の課題を教えてください

18春闘における要請は、1月30日の九州知事会と九州市長会を皮切りに、2月5・6日に九経連、人事院九州事務局などの経営者団体と国の出先機関に、15日には、福岡市を中心とした県庁、福岡市役所、中小企業家同友会などの地元自治体や企業団体など、22日には、北九州市役所を中心とした九電など地元企業に対して旺盛に行われました。経団連の18春闘の「経労委報告」は「内部留保を過剰に増やすことは投資家の視点から許されない」として内部留保を賃上げの原資にする検討を促したことは、私たちの闘いと世論の広がりによるものと言えます。

県春闘共闘の道下事務局長(県労連事務局長)に、今年の18春闘の課題と具体的な取り組みについて聞いてみました。【文責・編集部】



道下事務局長

第二に、アベノミクスが深刻化して格差と貧困が広がり、地域経済の疲弊が広がっています。暮らしと地域経済を守る課題で地域を基礎に共同を大きく前進させる「地域活性化大運動」を強化すること、特に、「全国最賃アクションプラン」などの社会的賃金闘争の強化が重要です。安倍「働き方改革」に対する反撃を強めて、職場から

反撃します。

第三に、安倍9条改憲に反対し、戦争する国づくりからの転換、平和で核兵器のない世界をつくる春闘にすることです。改憲NO! 3000万人署名を成功させるため、職場から憲法を語る人をつくり、改憲策動と戦争する国づくりをストップさせる闘いに取り組み

●具体的な取り組みはどうなりますか

3月14日を回答指定日として、団体交渉の開催と回答を求めます。翌日の15日は、ストライキを含む全国統

ます。

第四に、すべての加盟組合が新しい仲間を迎え、組織拡大で前進する春闘にすることです。職場で労働組合が見える職場活動を強化する、新規採用者の歓迎や未加入者への働きかけなどですべての加盟組合で組合員を増やすことです。



博多駅前で行われている「働きかた改革」反対宣伝行動

一行動の日を設定されています。この日に向けて、すべての組合での要求討議と要求書の提出、団結を固める職場での取り組みを重視します。その後の引き続く、粘り強い行動と交渉も大切です。

3月18日の日曜日は今春闘の決起の場である「3・18いのちと暮らしを守る福岡県集会」が、福岡市博多区の冷泉公園で開催されます。多くの組合員と家族のみなさんの参加を訴えます。

3.18 守いのちと暮らしを守る福岡県集会

昨年、総がかりで取り組まれた福岡県集会が今年も開催されます。立場の違いを超えて、今の安倍政治を許さないという一致点で、多くの市民が集い、連帯を深める集会です。

働く仲間のみなさん、3月18日は冷泉公園に集まろう!

3.18 いのちと暮らしを守る福岡県集会

憲法・反戦・脱原発・脱貧困・労働・人権を訴える総がかり行動

まもりたい9条
なくしたい戦争

憲法改憲反対

- 安倍内閣の総辞職を要求する
- 憲法改正の議論を中止する
- 原発ゼロを要求する
- 労働者の権利を守る
- 消費税増税の中止を要求する
- 男女平等の社会を実現する

2018年3月18日(日)
集会 13:00 / 予行 15:00
冷泉公園 福岡市博多区上川原町7-1
冷泉公園 福岡市博多区上川原町7-1

主催 福岡県労働組合総連合
共催 福岡県労働政策課

安倍「働き方改革」は 廃案しかない

福岡県労連 事務局次長 福山 慶司

安倍「働き方改革」は、「残業上限規制」は、「名ばかり均等待遇法整備」「リストラ・雇用流動化・労働法弱体化」など8つの法案を一括審議し採決を図るもので、私たち労働者がこれまで勝ち取ってきた権利をなし崩しにする大変な内容となっています。

この間、行ってきた博多駅頭での宣伝行動では、掲示しているボードに足を止めてみていく人、通り過ぎた後にわざわざ戻って受け取る人、「頑張ってください」と声をかける人など、今まで以上に労働者の反応があります。

安倍内閣は早ければこの2月には閣議決定を行い、通常国会での成立を狙っています。最悪な法律です。私たちの大きな運動で世論を動かし、労働法制改悪を絶対阻止していきましょう。

いいネ 日本国憲法いまこそ生かそう

安倍9条改憲 ここが知りたい

Q1 北朝鮮が心配 9条で日本を守れるの?

▲ 北朝鮮危機、本当に心配です。でも、武力で解決できるでしょうか。もし、武力を行使すれば、報復攻撃によって甚大な被害が生じ、核戦争の危機に発展する恐れすらあります。

国連事務総長も「いかなる軍事行動も壊滅的結果を招く」として、対話を強く呼びかけています。

対話による解決、つまり9条の実現こそ、日本を守る現実的だです。



Q2 「9条なんて、ただの理想」という声もあるけれど?

▲ 戦争は憎しみと報復の連鎖を生み、紛争を泥沼化するだけです。武力によらない地道で粘り強い交渉こそ真に問題解決の手段であることを歴史が示しています。

9条の平和主義は、理想論でも時代遅れでもありません。民族紛争やテロを解決する現実的手段です。核兵器禁止条約は、まさに9条の具体化です。



Q3 「自衛隊加憲」は自衛隊員のためになるの?

▲ イラク・インド洋派兵を経験した自衛隊員の56人が自殺しました。「自衛隊加憲」により「戦争する自衛隊」になれば、災害救助などで「人の命を救いたい」と入隊した隊員が戦闘現場に派遣され、「殺し、殺される」戦場で、心も体も破壊されてしまいます。

自衛官の息子をもつ平和子さん(仮名)は、「自衛隊員の命をもてあそばないで」と訴えています。



Q4 教育無償化・緊急事態のために改憲が必要?

▲ 憲法26条を根拠にした法改正を求める世論と運動が、私学助成を拡大し、高校「無償化」や「給付制奨学金」制度の扉を開きました。憲法26条を変えなくても、教育無償化は実現できます。

緊急事態条項は、戦争や自然災害などの際に、「緊急事態」だとして首相に権限を集中し、人権を制限するもの。ナチスの独裁に道を開いた「全権委任法」とウリ二つです。

Q5 労働組合と憲法って関係あるの?

▲ 戦争は、いのち・くらし・労働を土台から破壊します。人間らしい生活は平和であってこそ。だから労働組合は戦争に反対します。

くらしや福祉より軍事費を優先する「戦争する国」は困ります。高額兵器より、保育所や病院・学校に予算を。そんな当然の要求実現のため、労働組合は、政府に「憲法守れ」と求めます。



Q6 「署名」って意味があるの?

▲ 一人ひとりの声は小さいけれど、集まれば大きな力になります。国民の4分の1である3000万人の署名は、政治を動かすでしょう。

1954年ビキニ被災のあと燎原の火のように広がった「原水爆禁止署名」は、1955年に3200万を超えました。その後も積み重ねられた署名が世界を動かす、核兵器禁止条約採択！核廃絶の扉を開いたのです。



全労連新聞 2018年1月号外より

第13回 日出生台集会

米軍の増強はゆるさない



この本おすすめ

著者 吉野源三郎 文庫・漫画

君たちはどう生きるか



戦中(1937・昭和12年)に書かれ、今なお読まれ継がれる歴史的名著本。昨年漫画版として刊行され、170万部、文庫本として40万部売れ、ブームとなっている。本書の主人公であるコペル君は友人たちと学校生活の中で、いじめや貧困など様々な出来事を経験と観察し、話を聞いた叔父さんがコペル君に書いたノートという形になって構成されている。

「もの見方」や社会の「構造」「関係性」といったテーマが語られており、「自分の力で考えることが重要」と考

編集後記

今国会で審議されている裁量労働制、政府が根拠とする数値データの異常が明るみとなり、野党は厳しく追及している。この裁量労働によって業務の隙際ない拡大が懸念されているが、私たちの労働組合活動も仕事として捉えれば、耳が痛いと思う方もいるのではないだろうか。

「組合活動は運動だから」現実にはそう納得せざるを得ないところもあるが、私の周りも夜遅くまで業務に追われ、疲弊している様子の人が多い。当の本人は自分がやらなければと責任感に囚われがちでついつい抱え込んでしまう。私もどちらかといえばそうである。しかし、1日8時間労働を目指す身としては日々の中で実践することも大事。「健康で文化的な生活」の実現と運動を引き継いでいくためにも、自らの業務の見直しは「魅力ある労働組合」への第一歩だと、ふと考える。(は)

主催者として大分県労連議長の見解が行われ、情勢報告を仁比聡平参議院議員から国会情勢と沖縄だけではなく、岩国・佐世保・新田原などの米軍や自衛隊の組織、兵器の増強について報告が行われ、日本国内のとりわけ西日本地域でオスプレイやF35等の配備が行われ、これまでにない増強が行われて、珍珠駐屯地に水際作戦をする日本版海兵隊が配置されるなど報告されました。その後、九州各県から参加された参加者から連隊の挨拶がされました。福岡からは福岡県労連の道下事務局長から福岡の取り組みと連帯の挨拶がされました。最後に集会決議を閉会しました。

日時 2018年1月28日(日) 11時開会
会場 栗野運動公園